

諏訪之瀬島の現地調査について

- 火山活動が活発な諏訪之瀬島では、火山噴火に伴う火山灰の堆積、その後の降雨による降灰後の土石流発生が懸念される。
- このため、国土交通省では、2021年から定期的に鹿児島大学、鹿児島県、及び十島村と合同で現地調査を実施している。
- 今回は2026/2/19に鹿児島大学 地頭菌名誉教授、寺本教授、鹿児島県及び十島村と合同で実施。
- 集落上流域は火山灰が厚く覆う状況ではなく、浸透能調査では近年の調査結果と浸透能が同等であり、**少ない雨での土石流発生の可能性は低い**ことが確認された。

【諏訪之瀬島上空からの降灰調査】

- 集落上流域に厚い火山灰の堆積は見られなかった(写真D)
aは火山灰堆積状況及び浸透能試験地点



写真の撮影地点



2021/11/14の様子



2022/2/28の様子
(噴火が発生している)



諏訪之瀬島の降灰状況 (2026年2月19日)

集落の上流域

・集落上流域に厚い火山灰の堆積は見られない。
・aは火山灰堆積状況および浸透能試験地点

【諏訪之瀬島での地上調査】

- 腐食した落葉等が含まれる火山灰が60mm程度堆積。
- 浸透能調査では近年の調査結果と浸透能が同等であり、少ない雨での土石流発生の可能性は低いことが確認された。



調査実施状況
(2026/2/19)



地表面の状況(広葉樹林地)



新規の火山灰
厚さ60mm

火山灰の堆積状況
(2026/2/19)

【降灰後の土石流の発生原理】

